

福山市産業支援者連絡会議 議事要旨

日 時: 2025年(令和7年)9月3日(水) 9:55～11:10

場 所: 福山市役所本庁舎 3階 小会議室

出席団体

福山商工会議所、福山あしな商工会、神辺町商工会、沼隈内海商工会、
広島県中小企業団体中央会福山支所、(株)日本政策金融公庫福山支店、
(株)商工組合中央金庫福山支店、福山公共職業安定所、
広島県立総合技術研究所東部工業技術センター、
広島県商工労働局商工労働総務課東部産業支援担当、
福山市経済環境局経済部産業振興課

オブザーバー出席

経済産業省中国経済産業局産業部産業振興課

議事内容

■米国関税措置に係る取組について

【国の取組紹介】

経済産業省中国経済産業局から

資料に沿って説明(米国の関税措置に関する日米間合意の概要、特別相談窓口
への相談状況、活用可能な支援策の紹介)

9/1 第7回米国関税対策本部を開催

- ・自動車関連を中心に、徐々に影響が顕在化しつつある。
- ・価格転嫁や、価格転嫁に伴う輸出減少を懸念
- ・ピンチをチャンスに変えるべく、新規市場開拓や事業構造転換に向けた支援の
要望が大きい。
- ・合意事項の履行に向けた大統領令の発出を引き続き要求
R8年度税制改正に関する要望として、大胆な投資促進課税の促進、車体課税の
抜本的見直し等をHP上で公表している。

【産業支援機関の取組紹介】

●業種別の状況

○製造業

金属加工業: 受注停止に伴う相談有。新規販路開拓のための運転資金を希望
⇒マル経融資で対応

受注停止、減少の声あり。資金繰りの相談には至っていない。

繊維業: 倒産、廃業が今年度に入って増加

半導体関連:EV 後退により受注点数減。中国で内製化の動きがあり注視必要。

設備投資に着手するタイミングが見通せない。

造船業:米国関税で自動車製造業に影響が出れば、輸出に使用する船舶運航に間接的に影響が出る恐れあり。

○飲食業

高齢化による廃業が多い。

○サービス業

新未来トンネル開通に伴う交通量の増加から、沼隈・内海地区に好影響が期待できる。

●支援策

ものづくり補助金:1年ぶりの再開。申請件数はこれまでと同様 5,000 件程度
製造業で受注減少等の傾向があるが、投資意欲への変化は見られない。

中小企業省力化投資補助金(カタログ注文型):元々は非製造業が対象だったが、製造業向けも拡充したことで使いやすくなり、製造業の利用が多い。随時募集、随時採択の補助金。申請から採択まで1~2 カ月程度

●事業者の傾向

- ・融資の相談が増加傾向(マル経や地銀の融資で対応)
- ・熱中症対策の補助金について問い合わせ増加
- ・外国人技能実習生のニーズは高い。最低賃金の上昇により、採用人数を見直す企業もあり
- ・デジタル化に対する関心向上(セミナーへの参加者増。業務効率向上を図りたい)
- ・為替対策を考える企業が増加(アメリカの動向を見ながら)
- ・採用難で、人材確保のために人件費を上げているが、最低賃金の上昇により更なる増額が必要であり、利益率の悪化が懸念される。
- ・人手不足は業種より職種によって差がある。(医療、福祉、介護、運輸、警備が厳しい)

■その他

- ・米国関税措置等への対応のための、広島県の9月補正予算について説明
事業内容:海外販路拡大支援、設備投資支援
- ・有償インターンシップ構築費等支援事業費補助金(福山市)について説明
- ・今後も定期的な情報交換のため、産業支援者連絡会議を開催予定